

オンライン授業への意見

【ご意見・ご要望】

別添参照。

【回答】(回答日:2021年5月18日)

(回答部署:教育推進・学生支援部教務企画課)

ご意見ありがとうございます。

対面授業及びオンライン授業には色々なご意見があることは、十分認識しています。

今年度、対面授業を基本としてスタートしましたが、4月22日から「新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う活動制限のガイドライン」における対応レベルが2(-)に引き上げられ、原則オンライン授業を基本とすることとなり、さらに5月10日付で5月31日まで延長することとなりました。

本学では、学生皆さんの安全を確保することを最優先とし、安心して学業に専念できる状況になることが重要だと考えています。学生の皆さんも十分注意されているとは思いますが、通学上のリスク、食堂や教室で密になることでリスクが全くないとは言えない状況であります。さらに京阪神など関西の状況、変異ウイルス等の状況に鑑みると人流の抑制の観点から、大学外でも学生のみなさんが感染症の予防について正しく理解をし、自分が感染しないという自覚、他人に感染させないという思いやりを忘れず、大学生として責任を持った行動をとっていただくことが大切であると考えています。

残念ながら今回はこのような措置をとることとなりましたが、状況が改善されれば速やかに対面授業に戻し、教員・先輩・後輩・友人との関係を育むことができるような本来の学生生活を過ごしていただきたいと考えています。

早く通常の生活に戻れるよう皆さんの良識ある行動を期待するとともに、今回の対応にご理解とご協力をお願いします。

【No.1】(投稿日:2021年5月10日)

本日5月10日、オンライン授業継続の通知が来ました。結局オンライン化で本当にCOVID-19の感染拡大は防げたのでしょうか。何の根拠も出さずにオンライン授業にして我々学生の大学生活を奪うのはいい加減やめていただきたいです。

政治家は何の根拠も出さずに大学にオンライン授業への移行を要請しており、ただのパフォーマンスとしか思えません。学問の場である大学がこのような無根拠な要請に従うのは甚だ遺憾です。

【No.2】(投稿日:2021年5月11日)

5月末までのオンラインの延長についての意見なのですが、現2回生は去年の前期から今年度までのほぼすべての期間をオンラインで生活しました。

去年の前期は、前期が終わったらようやく学校に行ける、後期は1回生が終わったら2回生こそは大学に通えると信じて大学からの要請に従ってきました。

その結果が今の現状だと思うと、今後の大学生活のすべてをオンラインで過ごすことになるのではないかと言う不安があります。

大学の勉強はオンラインで代替できるという教員が京大に限らず一定数いますが、アナログ世代には理解が及ばないでしょうが、勉強にしろ、人間関係にしろ、オンラインでこれらすべてを代替するなんて無理です。わたしたちの現在の状況はあなた方の立場に置き換えれば、すべての仕事と職場の同僚との会話もすべてオンラインに置き換えることと何ら変わりません。これは人間の能力の限界による不都合です。

お願いですからこれ以上大学生から大学で生活する権利を返してください、奪わないでください。